

ころころ



1

号

令和3年5月19日
(発行者：日向克己)

教育相談ってなに？

今週から始まった学級担任の先生との教育相談週間について、みなさんはどんなイメージをもっていますか？「先生と話すことなんてない」「どうせ、勉強しなさいって言われるにちがいない」「悩みがあれば友達に話すから大丈夫」「テスト前の大切な時間をうばわないで」等、マイナスのイメージをもっているかも知れません。では、学級担任の先生方にとってはどうでしょうか？一人約10分ずつの時間をクラス全員と話すということは、たくさんの時間を使う大仕事になります。何のためにそこまでの時間を使うのでしょうか？

新学期が始まって1か月あまり。「がんばろう」、「うまくやっていきたい」という思いでだれもがクラスのこと、学習のこと、部活動のことに取り組んできたことでしょう。1か月を過ぎた現在でも、変わらない気持ちでがんばっている、よい流れが続いているならよいのですが、少しずつ変化が出始めている人もいないのではないでしょうか。学級の友達とうまく関係が結ばずに「ぼっち」になることが多い人、中間考査を前にして学習が思うように進まないと感じている人、大会が近付いているのに部員がまとまって練習できなくて困っている人などなど。ずっとうまくいっているという状況の方が奇跡です。必ず難しい状況、困ったこと、行き詰まりがやってくるものです。そんなときに力になるのが、人と話すことです。人と話すことで自分の考えていたこと、モヤモヤしたものを外に出すことができます。また、「悩んでないよ」という人や言葉にできないけど何かうまくいっていないと感じている人にとっても、そばに人がいて聴いてくれるという状況があるだけで安心につながります。この教育相談の機会を通して、雑談（自分の好きなこと、趣味等）でもよいので学級担任の先生と話してみてください。学級担任の先生方はすべて、あなたのサポーターであり、あなたの話にじっくりと耳を傾けてくださいます。そうして、この1年間、みなさんに寄り添っていきたいと考えておられます。楽しいことも苦しいことも、いっしょに味わいながら、つながりをつくりたいと願っておられます。



学校には友達や先生といった、あなたと異なるたくさんの人がいます。異なるからこそ助け合えます。こんな世の中だからこそ、身近な人、たくさんの人とのつながりを力にして1年間を駆け抜けましょう。ときどき立ち止まって話をしながら…。

最後に、相談室前の掲示板にあるAKB48の「365日の紙飛行機」の歌詞の一節を紹介します。

「元気が出ない そんな時は 誰かと話そう〜♪」

佐々木先生もみなさんのサポーターです

みなさん、こんにちは。今年度も雄山中学校のスクールカウンセラーをさせていただくことになりました佐々木理恵（ささきりえ）と言います。みなさんはどんな気持ちで新学期を迎えているのでしょうか。きっと一人一人がいろいろな思いを抱えているのではないかなと思います。みなさんが悩んだり、迷ったりしたときにどうしたらよいかを一緒に考えるお手伝いができればいいなと思っています。私は談話室（相談室の隣のお部屋）に居ることが多いです。休み時間や放課後など、ちょっとおしゃべりしたいとき、気分転換したいときに気軽に話しにきてくださいね。（ちょっと聞いてよー、みたいなお話で大丈夫です）みなさんにとってホッとできる場所の一つにしていきたいと思っています。1年間どうぞよろしくお願ひします。



※佐々木先生は原則、毎週水・木曜日の午後に来られます。詳細は次回の相談室だよりで。